

一

般

質

問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P8 ……平田 要
- P9 ……中西 顕治、太田 祐介
- P10……長尾 義和、井上加奈子
- P11……岡本ひとし、難波希美子

一般質問



平田 要

一、中山間地の遊休農地を活かした太陽光発電の設置 二、ヤングケアラー (家族等の介護や世話をする子ども)

問 中山間地の遊休農地の面積について問う。

答 耕作放棄地の面積は、2015年農林業センサスでは25.5ha。

問 中山間地の遊休農地への太陽光発電の設置について問う。

答 営農を行う場合に農地の一時転用により設置が可能。

問 農水省の農地等に係る規制緩和の動きを問う。

答 本年3月農水省から通知があり、再生可能エネルギーの導入に係る農地転用規制の課題に対する方針が示されている。

問 能勢町地域再生可能エネルギー導入促進事業(以下「促進事業」)における農地の取扱いについて問う。

答 本年度に再生可能エネルギー導入の、促進エリア設置に向け検討を行う。

問 促進事業に係り、太陽光発電設備等の設置及び管理、景観に係る条例の設置を問う。

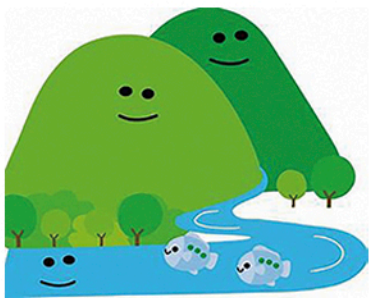
答 太陽光発電設備等に係る条例についても本事業の中で検討する。

問 関係部局との連携を問う。

答 福祉部局との連携の下、多職種と連携しながら全教職員で取り組んでいる。

問 ヤングケアラーという言葉の認知度や意識を高めることについて問う。

答 国のプロジェクトチームの報告でも社会的認知度の向上が課題とされている。国の動きを注視しつつ適切に対応していきたい。



ヤングケアラー

問 小・中学校におけるヤングケアラーの把握状況と対応を問う。

答 思われる事案を把握している。対応は子どもの生活実態を把握した上で、個々の子どもに合わせた指導に取り組んでいる。

問 関係部局との連携を問う。

答 福祉部局との連携の下、多職種と連携しながら全教職員で取り組んでいる。

問 ヤングケアラーという言葉の認知度や意識を高めることについて問う。

答 国のプロジェクトチームの報告でも社会的認知度の向上が課題とされている。国の動きを注視しつつ適切に対応していきたい。